

地域に愛されるゴルフ練習場を目指すために

強風時の安全対策及び被害防止の周知徹底

適合施設チェックリスト

1. 建造物の基準適合確認

ネット可動式施設の場合

- ネットを下した状態に風圧力を前提とした構造計算にて安全性が確かめられている。
「建築確認申請実施済」

ネット固定式施設の場合（一部ネット固定式も含む）

- ネットを取り付けた状態にて圧力を前提とした構造計算より安全性が確かめられている。「建築確認申請実施済」

嵩（かさ）上げ施設の場合

- 当初建築より嵩上げをしているが、構造計算にて安全性が確かめられている。
「建築確認申請実施済」

2. 安全点検

- 定期的に鉄塔の安全点検を実施している。「鉄柱等の劣化状況について建築士・専門技術者の助言を踏まえ点検の結果に応じて補修等の処置を実施している。」
- ①鉄塔やトラスト・アンカーボルト等にサビや亀裂が発生していないか確認を実施している。
- ②柱脚のアンカーボルトの破断等が無いか確認を実施している。
- ③ネット・ワイヤー等の安全確認を実施している。

3. 強風対策等

- 指示体系が明確な組織図を作成する。
「ネット降下や営業縮小の判断をする責任者の代行順位の明確化」
- 従業員誰もが理解できる簡便な強風時緊急マニュアル「作業手順書」を作成している。

(例)

- ①風速平均5メートル以上の場合
- ②風速平均10メートル以上の場合
- ③風速平均15メートル以上の場合
- ※15メートル以上が頻繁に吹いている場合は営業を中止する。

- 営業の一時中止・営業中止マニュアル「作業手順書」を作成している。
- 台風終了後の営業再開に関してのマニュアル「作業手順書」を作成している。